



DMW support the Sustainable Development Goals



日本学生支援機構が発行する ソーシャルボンドへの投資について

株式会社電業社機械製作所は、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドへの投資を決定しました。

「ソーシャルボンド」とは調達した資金が社会課題の解決に用いられる債券のことであり、資金使途がSDGsに貢献する事業に特定される、いわゆる「SDGs債」に該当し、SDGs達成に資するプロジェクトに供給されます。

●「ソーシャルボンド」へ投資に至った背景

株式会社電業社機械製作所は1910年の創業以来の歴史をもつ風水力機械メーカーです。私たちの生活や産業に欠かすことのできない“水”と“空気”に関する製品を扱う企業として、信頼性の高い商品を全世界へ提供し、稼働させることにより社会や地域に貢献することを第一に考えて事業を展開してきました。

ここ数年で、企業の在り方は大きく変わり、SDGsの考えをベースに、利益を上げることだけでなく、社会に貢献することでその存在価値が大きく評価されるようになりました。世界中で温暖化による気候変動に対する対応や安全な生活用水の安定供給が求められる中、弊社は省エネルギー及び災害被害の軽減に貢献する、高効率のポンプや送風機などの製品開発・販売を推進するとともに、水不足の改善に役立つ海水淡水化関連設備などの製品を通じて、世界の環境負荷の低減による気候変動の抑制、安全な水の安定供給へ寄与します。さらに、国際社会への貢献、地域社会との共存を目指し、持続可能な社会を実現するための努力を惜しみません。

弊社はコアコンセプトに『技術創生』を掲げ、「物作りの技術を中心とした企業活動」を行い、将来とも発展することを目指しております。その中で、株主・社員はもとより、地域や社会・世界の人々のために活動することを大切にしており、コロナ禍で生活が困窮する学生もいる今、教育に資する取り組みは事業会社の社会的役割の一つと考え、日本学生支援機構のソーシャルボンドへの投資を決定しました。

Sustainable Development Goals (以下SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発のための2030アジェンダをもとに、2030年までに達成すべくさだめた国際目標です。

(株) 電業社機械製作所は持続可能な発展に貢献するとともに、地域社会の課題解決や、環境負荷軽減に取り組み、2030年をターゲットイヤーとする国連サミットで採択されたSDGsの目標達成に取り組んでいきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

